

## 「第二の人生、商社マンから俳優に転身」



22期／昭和46年卒の富岡寛と申します。自分の名前については、話題の漫画・アニメ「鬼滅の刃」の重要な役に、同じ点無しワかんむり「富」岡姓の剣士「富岡義勇」の存在を偶然知り、ちょっと嬉しい今日この頃です。

私は理数科の1期生でもあります。実家の場所は本来、南高の校区でしたが、同校理数科設立は北高の1年後でした。要は偶然が重なって北高に入れたのであり、もし1年ずれていたら、双松会メンバーにはなれなかった訳です。

このように、運命とは不思議なもの。子供の頃から、波瀾万丈とも言うべき色々な事がありました。幼稚園児の時には放火で家が全焼する直前に脱出する（幸い家族全員無事）とか、小学生では車に轢かれたと思ったら車輪の間に倒れ込んで無傷で助かるとか……。

北高卒業後は早稲田大学工学部に進学のため上京しました。大学生の時には、下宿先を雷が直撃するとか、路上で二人組強盗に襲われ傘を振り回して何とか追い払う、といった出来事もありました。大学を卒業し三菱商事に就職。すると、そこは、数奇な生い立ちをも凌駕する、モーレツ企業戦士として国内外を飛び回る日々の、とてもドラマチックな世界でした。

商社時代、私の身に起こった事の一部を以下に列挙したら「事実は小説よりも奇なり」。

- ・ある輸出品の船積み立会いの為、月8回、港に出張
- ・投函後の国際郵便物をどこまでも追跡し、相手方到達前に回収
- ・商談の為、米国1週間／ヨーロッパ1週間と、2週間で世界一周
- ・研修では、1か月で米国50州の略半分を回る
- ・中東の某国では、盗賊の出没する街道で車が故障した為、ヒッチハイクする
- ・インド某プロジェクトの為、東京／ニューデリー間を、ひと月に4往復する
- ・アジア某国で、尾行され、電話を盗聴される
- ・アジアの別の某国では、鞆を切られる
- ・バンコク駐在時、ある年の来訪者接待日数が363日に達する
- ・同、事情によりレストランの別々の部屋を予約し、客3組を同時並行接待する

等々、思い起こせばキリがありません。

このような厳しくも面白い体験を続けさせてくれる三菱商事に、用済みと宣告されるまで居残るつもりでした。が、またまた、どんでん返し！

妻が、何故か若年性認知症になってしまったのです。その時私には、介護離職する道しかありません

でした。

ただ、転んでもただでは起きないのが私です。その時、ハタと思ったのは「残りの人生を介護だけに追われるのでは面白くない」そこで発想を大転換、「介護の合間に新しい事に挑戦しよう！」と。

結果、俳優に転身、という奇策に至りました。

その背景となった意図でもありますが、

- ①辛い介護の隙間時間を楽しい事で埋めたい
- ②子供が無い（つまり子孫が居ない）ので、自分の生きた証として映像に残りたい
- ③商社とは違う形で社会に貢献したい

という、スケールもグレードも違う三つの理由から、60過ぎの「新人」俳優に。

日テレ100%出資のタレント事務所、ニチエンプロダクションのオーディションを受け、登録しました。

芸名は、自分で思い付き「秋山格之進」とさせてもらいました。これは、

- ①池波正太郎の時代小説「剣客商売」の主人公、「秋山」小兵衛
- ②落語「柳田格之進」の主人公、柳田「格之進」
- ③ご存じ「水戸黄門」の「格さん」こと、渥美「格之進」

という、武士三人分のパクリです。

俳優業でも、これまでの（冒険に満ちた）半生が多少なりとも役に立っていると、感じています。基本的に、現場で何があっても驚かないですし。

ただし、時間の使い方は、商社と俳優業では全然違います。

商社マンは時間を無駄にしない。常にパスポートを用意し、飛び回るか、電話やメールをするか、書類を作成するか……。

俳優は「待つ」仕事です。出番待ち、大物俳優待ち、雑音収束待ち、天候回復待ち……。

実は、昨年3月に、とうとう妻が他界してしまったので、俳優転身への理由の内ひとつは消滅したのですが、「人生の長さは決められないが、幅はどうにでもなる」という考え方から、幅を1ミリでも広げるべく、続ける事にしました。

尚、若い人達に言われてTwitterやInstagram等の各種SNSにも着手。時々ですが投稿もしています。いずれも「秋山格之進」で検索すれば見つけられると思います。

ただ、Facebookで友達申請される場合は、原則として「双松会」とか「松江北高」というキーワードを含むメッセージも入れてください。なりすまし等、怪しい物も多いので。

では、俳優「秋山格之進」の応援を、今後共どうぞよろしくお願い致します！